

東北地方太平洋沖地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

第3期 2012年1月～3月

# 巨大災害とくらし

～東日本大震災から一年を迎えて～

受講料  
無料

2011年3月11日に発生した東日本大震災から間もなく一年が経とうとしています。

改めまして、この震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

この震災がもたらした災禍は、東北・関東の地域だけでなく、経済活動やエネルギーの問題をはじめ様々な形で直接の被害がなかった地域にも大きな影響を及ぼすところとなり、私たちのライフスタイルそのものが見直しを迫られています。また今期おうてもん塾の開始日1月17日は関西に住む私たちにとって忘れることの出来ない、阪神・淡路大震災が発生した日にあたります。

今回のおうてもん塾では巨大災害が私たちの日々の暮らしに与える影響を様々な角度から検証し、それとどう向き合うかを考えてみます。

## 第1講

1/17(火) 13:30-15:00

### 震災と文学



文学は震災をどのように書きとめてきたでしょうか。絵について、文字だけが記録の媒体であった時代から、現代のように絵画はもとより写真・映像による伝達の時代へという変化の中で、巨大災害とくに震災についての文字による表象＝文学の表現はどのように意味づけられるでしょうか。みなさんと考えてみたいと思います。

永吉 雅夫(国際教養学部 教授)

## 第2講

1/24(火) 13:30-15:00

### 震災と情報



震災から人・組織・ビジネスを守るためにインターネットはどのように活用できるのでしょうか。またそれを継続的に利用するには日頃からどのようなことを計画し、実践していく必要があるのでしょうか。この講演では、地域SNSや企業の事業継続計画の事例を紹介しつつ、震災と情報について、みなさんと一っしょに考えてみたいと思います。

井戸田 博樹(経営学部 教授)

## 第3講

2/14(火) 13:30-15:00

### 共に考えよう!エネルギー・シフト、向かうべき方向は?



3月の原発の大災害を体験した私達は、これからのエネルギーをどうしていくのか?という問いを突き付けられています。いったい、どちらの方向に向かって歩んで行ったら良いのでしょうか?それぞれ、色々な考えをお持ちだと思います。今回、お互い聴き合うために、皆で対話をする場を持ちたいと思います。

今堀 洋子(経済学部 准教授)

## 第4講

2/21(火) 13:30-15:00

### 震災と世代間交流



阪神淡路大震災の起こった1995年は「ボランティア元年」といわれます。学生ボランティアの起源は関東大震災時の東京大学の学生による行方不明者の捜索でした。震災という災害は、世代間分離をなくすきっかけともなります。東北地方太平洋沖地震でも、避難所を中心に世代間交流が日常的に行われています。ここでは、震災時の世代間交流について考えたいと思います。

栗山 直子(社会学部 准教授)

## 第5講

3/6(火) 13:30-15:00

### セーフティ・ネットを考える



セーフティ・ネットとは、人々の生活に安心と安全を提供するための社会制度のことです。それが不十分であれば、社会不安を引き起こし、未来への希望さえ奪いかねません。人々が抱える社会不安とは何か、安心な社会とはどんな社会なのか、セーフティ・ネットのあり方を考えながら、これからの経済社会像を展望してみたいと思います。

村上 亨(経済学部 教授)

## 第6講

3/13(火) 13:30-15:00

### 震災のリスクを考える ～正しく怖がり、かしくつきあう～



あの日から早1年。東日本大震災の被害や原子力発電所の事故はどのように伝えられ、私たちはどのように大震災の恐ろしさをとらえたのでしょうか?今なお続く大地震や原発への不安。過剰に恐れてはいけませんが、過去のことと忘れ去ってもいけません。責任ある社会人として大地震のリスクにどう向き合えばいいのか、ここでは、「リスクを正しく怖がる」という観点からこの問題を考えます。

金川 智恵(経営学部 教授)

# 追手門学院大学 創立45周年・国際交流推進年

追手門学院は1888年(明治21年)に創立された大阪借行社附属小学校に始まり、2008年に創立120周年を迎えました。現在は幼稚園から小学校、中・高等学校、大学・大学院までを持つ総合学園です。

追手門学院大学は1966年に開学し、2011年に創立45周年を迎えました。自主・自由・自立の精神を尊重した教育で、ひとりひとりの個性と才能を伸ばし、社会に開かれた大学を目指しています。

また、追手門学院大学では1970年にグジャラート大学(インド)、1980年にグリフィス大学(オーストラリア)との交換留学がはじまり、2010年にはそれぞれ40周年、30周年を迎えました。これを記念して、2009~2011年の3年間を「国際交流推進年」とし、国際理解と国際交流の推進を図り「OTEMON TO THE WORLD」をキャッチフレーズとして、大学の、また学生生活の国際化を進めています。

**追手門学院大学** 大阪府茨木市西安威2-1-15  
<http://www.otemon.ac.jp/>

学校法人 追手門学院  
 — ALL OTEMON —

追手門学院大学・大学院  
 (茨木キャンパス)

追手門学院中・高等学校  
 (茨木キャンパス)

追手門学院大手前中・高等学校  
 (大手前キャンパス)

追手門学院小学校  
 (大手前キャンパス)

追手門学院幼稚園  
 (豊中キャンパス)

## 募集要項

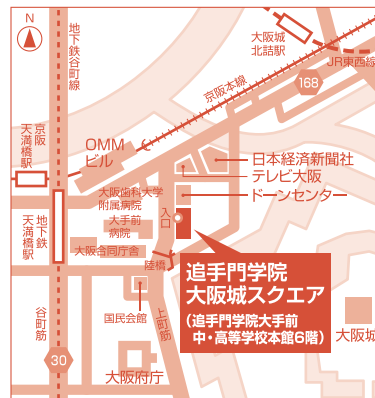
日 時 2012年1月17日(火)~3月13日(火) 修了証 全講座受講者に、大学より修了証を発行します(無料)  
 火曜日 13:30-15:00 申し込み 下記申込書をFAX、またはホームページからお申込みください。  
 会 場 追手門学院 大阪城スクエア FAX 06-6942-2744  
 定 員 100名(申込み先着順) <http://www.otemon-osakajo.jp>  
 受講料 無料 [後援] 追手門学院大学教育後援会

## 追手門学院 大阪城スクエア

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20  
 (追手門学院 大手前中・高等学校本館6階)  
 TEL. 06-6942-2788

### 交通アクセス

- 京阪電車「天満橋」駅下車  
14番出口より東へ徒歩約7分
  - 大阪市営地下鉄谷町線「天満橋」駅下車  
1号出口より東へ徒歩約7分
- ドーンセンター隣



✂ きりとり線

## 追手門学院大学 社会人教室

### おうてもん塾 第3期 参加申込書

お申込 ▶ FAX. 06-6942-2744

ふりがな			
氏名			ご所属 教育後援会員 ・ 一般
住所	〒 -		希望講座 第1講 ・ 第2講 ・ 第3講 第4講 ・ 第5講 ・ 第6講 (希望講座に○をしてください。複数可。)
TEL		FAX	
携帯電話		E-mail	

\*ご応募いただいた個人情報については法令に従い安全かつ適正に管理し、受講登録手続き及びご本人への連絡、今後開催する講座、講演会のご案内にのみ使用させていただきます。